

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき，教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い，その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

平成29年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

平成29年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組・成果等を取りまとめ，教育に関し学識経験を有する方から総合的な評価を受けた。

○ご意見をいただいた学識経験者

（順不同，敬称略）

梅 澤 浩	元茨城県立水海道第一高等学校長
吉 原 寛 侃	元常総市立石下小学校長

総合評価

「未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実」について

- 新学習指導要領の趣旨を理解しカリキュラムを編成することが重要である。各校の教育目標の再点検も必要になってくる。特に基礎学力の向上と個に応じた指導に重点をおいていただきたい。
- 学習のつまずきは問題行動につながりやすい。その前のフォローが大切であり、個に応じて展開することが重要である。そのための方策として進められている土曜日補習教室（常総ほっとサタデー教室）は、有効な取り組みと考える。また、児童に対する学習支援だけでなく、保護者に対する教育相談の場になっていることも望ましい在り方であると思う。
- タブレット型パソコンの整備はICT教育の要請である。ICTの推進においては、セキュリティに十分な注意が必要である。

「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について

- 保護者の最大の願いは、我が子が元気に登校し、通学路も安全で元気に帰宅することである。通学路はもちろんのこと学校は安全安心な場所でなければならない。
- 東日本大震災や関東・東北豪雨災害は、まさに想定外の出来事であった。その経験を踏まえて、いつ起こるかもしれない災害に備えるための危機意識を育てることは、今日的な重要課題である。命を守る防災教育の充実を図っていただきたい。

「市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進」について

- それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会の提供は、市民の希望するところであり、さらなる努力を願う。
- 郷土の宝である歴史文化資料の保護、保全並びに広報活動を積極的に行ってほしい。それは市民の郷土愛を育む有効な手立てであると考えます。
- 青少年育成常総市民会議における石下支部の設立を願う。全市的な取り組みが必要とされるので早急な対応を望む。
- 関東・東北豪雨で被災した大生公民館の建替えが、平成30年1月に竣工した。水害の経験を生かして、災害に備える機能も工夫された公民館として再生できたことを高く

評価したい。

「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 生涯スポーツは、本人の自発性が基本である。その前提として施設の充実や環境の整備が大切である。誰でもいつでもスポーツに親しめる環境の提供を願う。
また、吉野サン・ビレッジサッカー場の人工芝全面張り替え工事が、最近の異常気象なども考慮して進められたことは、良い工夫であると思う。
- 指定管理者の導入はメリットが大きいので歓迎である。
- 平成31年度の国民体育大会の準備が着実に進められていることに敬意を表する。
大会の成功を願う。

「健康を増進する食育の充実」について

- 学校給食は児童生徒の生命がかかっている。児童生徒のアレルギー対応はもちろんのこと、学校給食衛生管理基準等に基づいて徹底した衛生管理に努めてほしい。
- 学校給食センターの調理等業務の民間委託については、その実施状況を的確に把握して、結果の検証を着実に行うことが重要であると考えている。

「心豊かにする読書教育の充実」について

- 図書館は市民の情報、教養、娯楽の宝庫であると同時に生涯学習の中核的存在である。市民のニーズに応え、さらに充実した図書館の管理運営にあたっていただきたい。
- 本に親しむ習慣をつくるために、12ヶ月児とその保護者を対象とする「ブックスタート」、小学生以下とその保護者を対象とする「おはなし会」を行っているのは良い企画であると思う。小さな子が本に親しむ機会を設けることは、「読書意欲の高い人づくり」につながるのではないかと考える。

「安心して子育てできる就学前教育の充実」について

- 指導者は「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をよく理解し、一人ひとりを観察し、小学校への円滑な接続を図ってほしい。
- 幼稚園の統廃合は、地域住民との意思疎通を十分に行い、摩擦が最小限になるような取り組みが求められる。